

IELTS ライティングで高スコアを狙う Introduction 攻略法

[ジェネラル&アカデミック両モジュール対応]

【 著作権について 】

IELTS ライティングで高スコアを狙う Introduction 攻略法の著作権は吉田悠亮に帰属します。

使用の際は以下の点にご注意ください。

- 本書の内容を無断で商用に使用することは禁じます。
- 本書に使用している文章などを無断で転写、転売、流用及び転載することを禁じます。
- 本書で紹介している内容を使うことで必ずスコアアップ出来ることを保証するものではありません。

この度は、IELTS ライティングで高スコアを狙う Introduction 攻略法をダウンロードいただきありがとうございます。

このレポートでは IELTS のライティングテストでそのまま使える Introduction の書き方を分かりやすく紹介しています。

あなたがこのレポートで紹介している書き方を実践することで、少しでも目標スコアのクリアに近づけることが出来ると幸いです。

それでは、始めましょう！

IELTS ライティングテストとは

時間はジェネラルトレーニング、アカデミックモジュールともに60分です。

両モジュールとも2つの課題が与えられます。

1つ目の課題（Task 1）は大体20分くらいをめやすにして150語以上の文章を書きます。

2つ目の課題（Task 2）は40分くらいで250語以上の文章を書きます。

1つ目の課題を早く終わらせれば終わらせるほど2つ目の課題に時間を使えます。

ふたつある Task のうち、ほとんどの方が Task 2 のエッセイを苦手をしているのではないのでしょうか？

それでは、Task 2 についてももう少し詳しく見ていきましょう。

IELTS ライティングテスト Task 2 とは

Task 2 ではジェネラルトレーニング、アカデミックの両モジュールともエッセイ形式の文章を書くように求められます。

与えられるトピックは、両モジュールで若干の違いがあります。

ジェネラルトレーニングモジュールではジェネラルなトピックを、アカデミックモジュールではジェネラルトレーニングモジュールに比べよりアカデミックなトピックを与えられます。

しかし、エッセイの書き方にはさほど違いはありません。

両モジュールとも与えられたテーマに対して自分の意見を述べ、論証していきます。

その際、自分の経験などを例にあげて書くことでより説得力のある文章を書くことができるでしょう。

IELTS ライティングテストの説明はこれぐらいにして、Task 2 のエッセイに使える具体的な Introduction の書き方を見ていきましょう。

そのまま使える！ Introduction の書き方

それでは早速 Introduction をどのように書いていけばよいのか、下記の問題を例に具体的に見ていきましょう。

例題 1

You should spend about 40 minutes on this task

Part-time work is popular with many people involved in full-time courses of study.

What do you think are the advantages and disadvantages of students doing part-time work?

You should write at least 250 words

© Text and questions copyright Active IELTS.

Task 2 のエッセイでは 250 語以上の文章を書くことを求められています。多少の多い少ないはあってもよいですが、Introduction (50 語)、Main Body (150 語)、Conclusion (50 語) を目安として書くのがよいでしょう。

Introduction でよく設問文の一部をそのまま抜き出して書いている人がいますが、これは NG です。絶対に設問文をそのまま抜き出して書かないようにしましょう。それぞれの単語を使うのはよいですが、短い文や、いくつかの言葉からなる設問文の一部をそのまま使うのは避けましょう。

Introduction では、これから書くエッセイの内容について簡潔に説明する必要があります。

はじめから設問に対してどのように答えていくかを書くのではなく、まず初めに設問に関する一般的に知られている事実など、大きな視野で見た事柄を挙げます。

英語でこれを General statement、一般的な内容の (general) 文 (statement) といいます。

例題1 の場合、General Statement は、Due to the increase of tuition fees, more and more students are having part-time work during their full-time study today.

というように、授業料の増額に伴いたくさんの学生が在学中にパートタイムの仕事をしているというように書くことができます。

あくまでも一例ですが、このように書くことで、設問文をそのまま抜き出さずに、設問に関連する一般的に知られている事実を書くことができるでしょう。

次にもう少し詳しく設問を自分の言葉で言い換えて書きます。

例えば、

While some students only focus on the advantages of having a part-time work, there are also some disadvantages for them.

のように、中には良い面しか見えていない学生もいるけど、パートタイムの仕事を持つことはフルタイムの学生にとって良い面と悪い面の両方があるというように書くことができるでしょう。

そして最後にこれからエッセイをどのような構成で書くのか説明します。

この説明文を英語で Thesis statement と言います。エッセイの題目 (thesis) を提示した文 (statement) です。

例題 1 の Thesis statement は例えば、

In this paper, I will be explaining the advantages and disadvantages for full-time students to have a part-time work.

というように書くことができるでしょう。

ここでは色々な形で書くことが出来ますが、出来るだけシンプルに、そして明確にどのような構成でエッセイを書いていくのかを示します。

これまでのところをつなげると下記ようになります。

Due to the increase of tuition fees, more and more students are having part-time work during their full-time study today. While some students only focus on the advantages of having a part-time work, there are also some disadvantages for them. In this paper, I will be explaining both the advantages and disadvantages for full-time students to have a part-time work. (60 語)

ここまでをまとめると、Introduction の構成は、

- まず設問に関する誰でも知っているような事柄を書く (General statement)
- 次に設問を自分の言葉で言い換えて書く
- 最後にどのような構成でエッセイを書くのかを示します (Thesis statement)

設問の形式によって多少変わることもありますが、基本的に上記の手順で書くようにすればうまくまとまった Introduction が書けます。

特に、最後の一文 (Thesis statement) は “In this paper, I will be ~ing (上記の設問文のように自分の考えを書くように求められている場合は explaining~ というように自分の考えを説明していく事を示します。) ~” という形で書くことで、ほとんどの Task 2 のエッセイの Introduction でそのまま使うことが出来るでしょう。

最後に

どうでしょう？

なんとなく分かっていただけただけでしょうか？

IELTS ライティング Task 2 の Introduction を書くときは下記のポイントをおさえて書くようにして下さいね。

- まず設問に関する誰でも知っているような事柄を書く (General statement)
- 次に設問を自分の言葉で言い換えて書く
- 最後にどのような構成でエッセイを書くのかを示します (Thesis statement)

しかし、言うは易し行うは難し。

最初のうちはなれなくて戸惑うかも知れませんが、続けていくうちにコツが掴めスピードもついてきます。

書く文章量も多い IELTS のライティングテストではエッセイを書くスピードも重要です。

書くスピードを上げるには出来るだけ多くの問題にトライし IELTS のスタイルに慣れることです。

その際、実際に書かれたエッセイを参考に、自分で使えると思った表現や単語を書き出し、どんどん自分のエッセイに使っていくことで、文章の表現に幅が出てきます。

以上を実践する事で高スコアを狙えるエッセイを短期間のうちに書くことが出来るようになるでしょう。

それでは、目標スコアのクリアを目指して頑張ってください！